

第1回委員会の整理事項

九州地方の大規模土砂災害における警戒避難対策検討委員会の検討内容

大規模土砂災害発生時の警戒避難に関する自治体への支援策

地域への情報提供のあり方

関係機関の連携のあり方

九州地方における深層崩壊の実態と特徴を確認

各委員における災害対応等に関するこれまでの取り組みを情報共有

地域とのワーキングの進め方を確認

情報提供手段について意見交換

関係機関の連携方策について意見交換

【第1回】地域とのワーキング（平成26年2月開催予定）

地域への情報提供に関する方策についての検討結果報告及び意見交換

関係機関の連携方策についての検討結果報告及び意見交換

【第2回】地域とのワーキング（平成26年4月開催予定）

地域への情報提供に関する方策についてのとりまとめ

関係機関の連携方策についてのとりまとめ

第1回 委員会

(H26.1.8開催)

第2回 委員会

(H26.3.13開催)

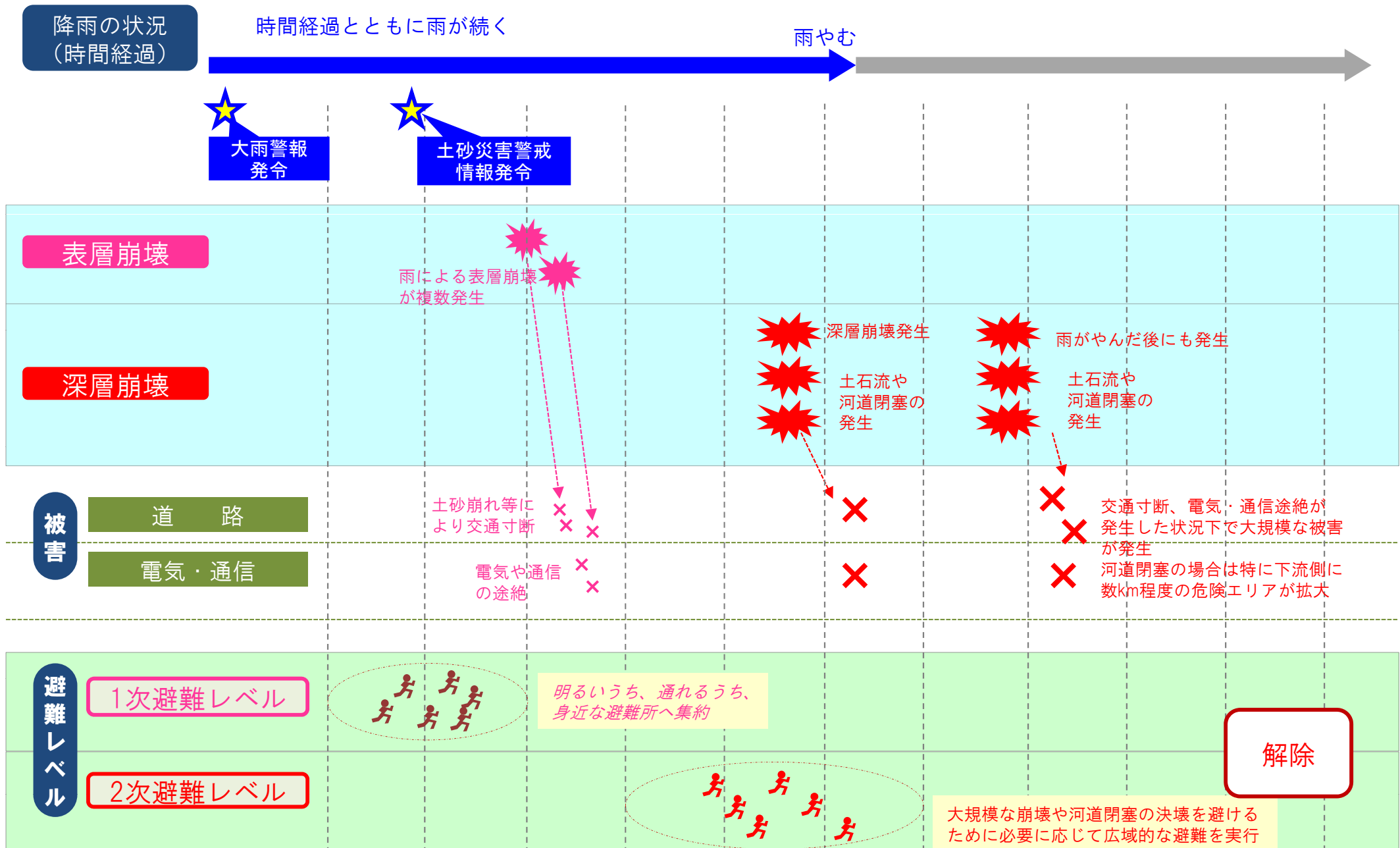
第3回 委員会

(H26.5.開催予定)

【次年度以降】

大規模土砂災害における連携計画の策定、地域防災計画への材料の提供

大雨による大規模土砂災害の発生イメージと警戒避難の関係



※深層崩壊が起こるような地域での潜在的な危険性を表現したものである

第1回 九州地方の大規模土砂災害における検討委員会の整理事項

深層崩壊の実態

- ・九州地方で起きた深層崩壊発生時の総降雨量は、火山性地質地帯で400mm程度以上、堆積岩地質地帯で600mm程度以上であった
- ・降雨が終了してから発生した事例が複数あった

これまでの取り組み

- ・国土交通省：深層崩壊跡地密度マップ/監視警戒システム/XバンドMPレーダー/TEC-FORCEによる他機関との連携/訓練/社会実験
- ・熊本県：連携訓練/予防的避難の推進/災害支援チーム/災害時協定/ハード・ソフト対策
- ・自衛隊：災害派遣活動/連携訓練
- ・警察：広域援助隊/治安維持/連携訓練
- ・気象台：特別警報/情報提供/勉強会

各地域からの災害時の状況報告

- ・五木村：平成24年7月12～13日にかけての集中豪雨災害（熊本県広域大水害）の概要
- ・球磨村：災害対応事例、避難勧告等の基準、平成24年7月12日にかけての集中豪雨災害の概要
- ・水上村：江代地区防災拠点施設の概要

WGの内容予定

- ・第1回：災害事例/避難情報/二ーズの確認
- ・第2回：災害を想定した簡単なDIG図上演習（第1回WG、第2回委員会にて詳細を検討）

第1回 九州地方の大規模土砂災害における検討委員会の整理方法

・第1回委員会で出された意見を、時系列と役割で整理

		事前対策	降雨開始後						
			発災前	発災後			発災後		
				表層崩壊			深層崩壊		
			災害状況の把握	避難行動（1次避難）	緊急対応	災害状況の把握	避難行動（1次避難）	緊急対応	
住民	住民 (自主防災組織、消防団)	地域の安全点検 普段からの避難訓練	早期自主避難の実施	自治体に連絡	避難行動	自助・共助			
自治体	市町村	防災計画の策定 防災会議の実施 災害対策訓練、関係機関との合同訓練 避難所の指定、整備 ハザードマップの段階的作成 備蓄の段階的な充実 自主防災組織の編成、訓練の実施	早期自主避難の呼びかけ	被害状況調査（自治体所管内）	避難勧告 避難指示 避難所開設				
熊本県	危機管理部局	定期的な訓練 関係機関との合同訓練	早期自主避難の呼びかけ 「予防的避難」の推進	被害状況調査（一般災害） とりまとめ 情報発信					
	砂防部局	危険個所の把握・公表、災害警戒区域指定 災害支援チーム「TOPチーム・Sチーム」を編成 民間業者との災害協定の締結 砂防ダムの上砂や流木の除去 施設の緊急点検、危険度ランク		土砂災害被害状況調査（県所管内）					
国土交通省関係	国土交通省（本省） （九州地方整備局） （川辺川ダム砂防事務所） （国総研） （土木研究所）	危険個所の把握・公表、深層崩壊推定頻度マップ 大学と連携した調査・検討 Xバンド気象レーダーの整備 振動センサーの整備 TEC-FORCEの編成 緊急調査を実施するための各種訓練の実施 地上ヘリ訓練 関係自治体との連携訓練	Xバンド気象レーダーによる詳細な降雨情報の提供（予定） スマートフォンを活用した情報共有の試験	土砂災害被害状況調査（直轄内）			被害状況調査（直轄内外） 振動センサー 人工衛星画像 ヘリ・マルチコプター調査 地上調査 TEC-FORCE 緊急調査実施（河道閉塞） 土砂災害緊急情報の提供 危険範囲特定 河道閉塞決壊時刻予測 継続監視の実施		
	気象台	気象情報の提供 気象予報 県の災害本部に出席して気象状況の解説 災害に対する普及啓発活動 防災担当者向け 講習会、研究会、研修会、等 マスコミ向け 勉強会、連絡会 児童・生徒向け 出前授業、出前講座	気象情報の提供 各種気象支援情報の提供 FAX、防災メール、 ホットライン 各種注意報、警報（特別警報 等）			自治体の防災担当に電話して状況を知らせる FAXで気象支援資料を提供 防災メールで細かい情報を伝える			
大学		専門的な観点から 土砂災害の危険性研究 深層崩壊の発生予測（場所・発生時期） 災害履歴、地質状況 避難行動の円滑化・効率化 普及啓発活動 講義・実習 各種研修・机上訓練（DIG）・実働訓練の企画・支援 避難行動の実証、シミュレーション 避難と体力の分析、避難行動分析							
陸上自衛隊	第8師団	定期的な訓練 自治体や関係機関との共同訓練		被害情報の収集		被害拡大防止 人命救助 行方不明者捜索 給水活動			
熊本県警		定期的な訓練 自治体や関係機関との共同訓練 災害装備資機材の充実・点検整備（小型重機、救命ボート） 住民の防災意識の高揚（防災教育、広報）		被害情報の収集 ヘリテレ映像を報道機関等に提供		救助活動 被災者の救出救助 行方不明者捜索 信号復旧・交通規制			
消防									